

川苔山山行報告（平成 29 年 7 月 17 日（月・祝）

天気： 晴れ 参加者（8名）： 天野、伊藤、小澤、中島、三浦、市川、加田、山下
行程： 新宿発 6：46＝8：21 奥多摩 8：35＝8：50 川乗橋 9：00－9：55 細倉橋 10：05
－11：00 百尋の滝 11：20－13：35 川苔山山頂（1,363m） 13：50－15：55 山の神 16：05
－16：50 鳩ノ巣駅 17：23＝18：24 立川（解散）

夏山シーズンもいよいよ間近になってきたので、北アルプスへのトレーニングとして少しきつめの「川苔山」を企画したところ、3名のゲストを含めて8名の参加者が集まった。川苔山は奥多摩でもやや奥まった場所にある独立峰であり、どこから登ってもきつい。

当日は6時46分新宿発のホリデー快速に乗り奥多摩に向かった。8時20分に奥多摩で全員が集合しバスに乗ろうとすると既に多くの人が並んでいる。我々は4台目の臨時便に乗って15分ほどで登山口である川乗橋に着き、9時に出発した。

今日も晴れて暑いですが、最初は舗装された沢沿いの林道で木陰が多いため意外と涼しい。静かな林道を話しながらゆっくり歩き、9時55分に細倉橋に着いた。ここからは山道が始まり、川乗谷に沿った登山道は細く切れ落ちた斜面が続く。何回も沢を渡るが橋はしっかり架かっており、道も整備されている。岩を削って流れる清流のあちこちに小さな滝や急流が見えているので落ちないように注意しながら歩いて、11時に百尋の滝に到着した。

薄暗い谷の奥には落差40mという大きな滝が水量充分に落ちていた。滝壺の周りにはたくさんさんの登山者が写真を撮ったり休んだりしている。20分に出発すると本格的な登りとなり、たっぷり汗をかかされた。ひたすら登って12時10分、手ごろな広場があったのでお昼とした。長いコースだし午後は雷雨の可能性もあるので20分の休憩で出発した。

出発すると5分くらいで分岐に出て、ここから急斜面を上っていく。道は徐々に沢を詰めるようになり頭上が明るくなってきて尾根に出た。ここからは緩やかな尾根道を10分弱歩き、13時35分に川苔山山頂に到着した。山頂には木が無いが周りは樹林帯のため、見晴らしは東側だけである。今日は晴れだが雲が多く遠方の見晴らしはあまり良くない。

13時50分下山、まずは先ほどの尾根を5分ほど戻って分岐に行き、上りとは逆方向の鳩ノ巣駅目指して下る。最初は広葉樹、まもなく植林帯となるが、この下りはとにかく単調で長い。嫌というほど歩いて、15時55分大根の山の神に着いた。駅までもう少しなのだがまだ長く、植林帯の中をひたすら下りやと民家のある所まで出て、16時50分に鳩ノ巣駅に着いた。次の電車まで30分くらいあるので、駅前の店で生ビールやサイダー、氷水で乾杯、「お疲れ様でした」。17時23分鳩ノ巣発に乗り、18時24分に立川で解散した。

川苔山は溪谷美と百尋の滝がすばらしく、人気の山であることを再確認した。下りは単調で長かったが、前半の楽しさを思えばやむを得ない。いささかきつめのコースであったが、夏山のトレーニングもできたし、滝と溪谷と緑を楽しむことができた山行であった。

（伊藤）



百尋の滝



川苔山山頂



お疲れ様



お疲れ様



全写真：<https://youtu.be/btNbh7FySAo>